

# 広報 ひろば **たいせつ**

## 11月号目次

- P 2 …… 農協法公布記念日にあたって
- P 3 …… 令和元年産米出荷状況
- P 4～6 …… たいせつHOTニュース
- P 7 …… メカニックセンターからのお知らせ
- P 8 …… JAグループ通信
- P 9 …… 総務部からのお知らせ
- P 10 …… 理事会・監事会からのご報告・たいせつのあゆみ  
第6回法律相談日のご案内



 **たいせつ**



田んぼアート2019の稲刈り作業が行われました

ホームページURL <http://www.jataisetu.or.jp/>



# 農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長 飛田 稔 章

本年9月30日、本会は平成27年の農協法改正に伴い法律上の位置付けを連合会に移行しましたが、名称は変更されず、事業としても会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されているため、今後も引き続き、中央会が果たすべき基本的な機能であるJAグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJAをサポートして参りますので引き続きご支援、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で72年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

総合事業を展開しながら安全・安心な農畜産物の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する信用事

業、総合的な暮らしの保障のための共同経済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、環境問題や子供の貧困問題などへの取組み等、地域社会に貢献するための様々な社会的取組みも行なわれております。

また、昨年の北海道胆振東部地震のように大規模災害が発生した際には、組合員・JA・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入、協同組合間による募金活動など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動によって、被災地域の復旧・復興支援に大きな役割を果たしているところであります。

このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を發揮してきているのです。

そのような中、「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に昨年4月には、我が国の農協、漁協、生協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構（JCAC）が発足したところであります。

昨年開催した第29回JA北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創

る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、JAグループが一体となつて取組むこととしております。

JAに集う組合員、役職員の皆様は、競争ではなく共生の社会を創り出す社会システムのひとつとして世界的に評価され、その価値と役割を高め始めている協同組合の仲間であることを誇りとしながら、対話運動の実践を通じて、信頼と絆を土台にした新たな協同組合の価値創造と、食と農でつながるサポーター550万人づくりによって、協同活動の輪を広げて頂きたいと考えております。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業と地域社会へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様から夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げます。農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。



令和元年度は、平年並みの積雪ながら3月下旬の大雪によりハウスの倒壊被害が出るなど作業の遅れが心配される中、4月中旬以降の好天により1日程度早く春作業は進むこととなり、5月も好天が継続したため良好な苗の生育となり移植は2日程度早く、移植後の活着・生育は良好となりましたが、移植期後半の記録的な高温によって高温障害の発生が懸念されることとなりました。

6月以降も好天に恵まれ順調な生育となり、7月中旬の生育状況では平年を上回る莖数を確保したことから豊穡の秋が期待されましたが、m籾数はやや多いながらも過去平均と比較してやや高い不稔歩合となったため平年作～やや良の収量が見込まれる中、9月15日現在の作柄は北海道「105」上川「105」と公表されました。

品質状況では、育苗時の高温や5月下旬の記録的な暑さによる「遅発分けつ」と「早期異常出穂」が発生し、穂揃いが劣る生育となったことの影響と見られる未熟粒や青死米の発生が散見されることとなり、タンパクについては昨年よりも低い数値を示しながらも全体的には高めの値となっており、高めの不稔歩合と品質状況の影響と推測されています。

このような状況の中、「信頼される米産地」確立へ向けた生産者皆様の深いご理解とご協力により施設調整を基軸とした出荷を頂き、全量一等米での出荷状況となっておりますことに厚くお礼申し上げます。

**令和元年産米 出荷状況（10月24日現在）**

（単位：俵）

	ななつぼし	きらら 397	ゆめぴりか	その他品種	計
所 前	29,861.5	42,874.0		3,460.0	76,195.5
上川ライスターミナル	44,074.0	20,759.5	72,165.0		136,998.5
ライスセンター	25,695.5	27,026.0			52,721.5
計	99,631.0	90,659.5	72,165.0	3,460.0	265,915.5

※出荷実績は主食用米、水田活用米穀の合計数量となっております。  
 ※上川ライスターミナル、ライスセンターは10月23日荷受完了分までの自主検数量となっております。

**来年度に向け、土壌診断を実施しましょう。**

水稻苗床では、肥料分の蓄積などによるpH低下によって適正範囲(4.5～5.0)では無いハウスが見られます。「健苗育成」が高品質米生産の基本であり適正なpHでの耕種的防除を基本とした育苗が「使用農薬の節減」にもつながりますので、来年度に向け土壌診断を実施しましょう。

**●pHの簡易測定（無料）は営農センターにて随時受付けております。**

**イオン北海道グループで販売中の「JAたいせつ米 無洗米 ななつぼし」に新たなアイテムが加わります。**

平成17年12月よりイオン北海道グループで販売が開始され、消費者の皆様にご愛顧を頂いております「JAたいせつ米 無洗米 ななつぼし 5kg」に「令和元年産米」より「少量ニーズに応える『無洗米 2kg』」と「幅広い客層に応える『普通精米 5kg』」が新たに追加されます。

今後とも更なる「JAたいせつ米」ブランドの強化とファン獲得を目指し、JAたいせつ「稲穂の里」協議会と連携した販売促進を実施して参りますので、組合員皆様からもご親類、ご友人にご紹介頂きますようお願い申し上げます。



普通精米新パッケージ

## 9月26日(木) 海外研修生日本農業をマナブ

大雪土地改良区が平成14年度より実施しているJICA関連の海外研修生受入れが本年度も実施され、道内外各地での講義や視察など、約1か月半の日程で研修されています。

当JAでは6月のコースでも1日受入れを行いました。今回も「農民主体型用水管理システム(B)」コースにカメルーン・ギニア・セネガル・マダガスカルより来旭された5名の方へ、9月26日、当JAが講師を務め、初めに澤田参事よりJAの仕組みや地域の概要を説明し、続いて伊藤総務部長から当JAの事業内容をフランス語の通訳を挟んで講演しました。

研修生からは「JA組織の中には外部役員などがいるか」「貸付けをするには十分な資金はあるか」など外国人ならではの質問がたくさんありました。

午後からは東鷹栖検査場・ライスセンター・上川ライスターミナル・メカニックセンターを見学し、米の形態別出荷方法や受入れ作業の速さに感心していました。

最後に直売所で買い物と「愛すご飯」を試食し一日研修を終了しました。



## 10月4日(金) 東鷹栖年金友の会秋季パークゴルフ大会開催



たいせつ農協東鷹栖年金友の会秋季パークゴルフ大会を鷹栖町丸山パークゴルフ場にて31名の参加により開催しました。

朝から大粒の雨が降りコース状態を踏まえ、本来36ホールプレーする予定でしたが半分の18ホールに変更し大会が始まりました。プレーが始まって雨は降りやまない中ではありましたが、2名の方がホールインを出すなど素晴らしいショットも多くありました。

悪天候の中、参加された皆さんお疲れ様でした。今シーズンのパークゴルフ大会はすべて終了いたしました。来年も魅力ある大会を計画していきますので多くの方のご参加をお待ちしています。また、会員の方で興味のある方、初心者から上級者関係なく楽しい大会ですので、是非ご参加をお待ちしています。会員以外の方で興味のある方は、お気軽に本所金融課へお問い合わせ下さい。

優勝・準優勝は次のとおりです。(スコアはハンデを含んでいます)

男性の部

優勝 原 隆幸さん (スコア50)  
準優勝 大坪 正守さん (スコア52)  
3位 道下 吉孝さん (スコア52)

※同スコアの場合は年齢順

女性の部

優勝 宮崎 功子さん (スコア55)  
準優勝 木下 幸子さん (スコア55)

※同スコアの場合は年齢順

3位 関口 道子さん (スコア59)

## 10月11日(金) 鷹栖年金友の会秋季パークゴルフ大会開催

重く頭を垂れた稲穂がすっきり刈り取られ豊穡の秋を迎えた10月11日に、本年度最後のパークゴルフ大会が鷹栖町丸山パークゴルフ場で開催されました。

当日はコースに朝露が残っていましたが、雨の心配もなく秋晴れの気持ちいい天気の中、参加者35名は日頃の練習の成果を発揮され大変盛り上がった大会となりました。

春先から今大会に渡って活動された会員の皆様大変お疲れ様でした。今回の大会で今年度のパークゴルフ大会は終了します。

来年度も初心者から経験者関係なく、楽しい大会になるよう努めていきますので多くの参加者をお待ちしております。

今回の大会結果は次のとおりです。(スコアはハンデを含んでいます)

男性の部

優勝 坂本 武さん (スコア96)  
準優勝 田中 秀世さん (スコア96)  
3位 石郷岡三雄さん (スコア99)

女性の部

優勝 石田 敬子さん (スコア100)  
準優勝 能島 洋子さん (スコア101)  
3位 中林とよ子さん (スコア105)



## 10月14日(月)「JAグループかみかわ農業祭 2019」開催



旭川地場産業振興センターにおいて、上川管内全13JAの参加により「JAグループかみかわ農業祭 2019」が開催され、当JAではオオカミの桃トマトジュースや玄米入り緑茶、お米の枴売りや加工品などの販売を行いました。その他、各JAの女性部長の皆さんで作る上川産の農産物を使った「かみかわカレー」の限定販売や、青年部員と女性部員を講師とした、南瓜ランタン・稲わらリース作り・模擬牛を使った乳搾り体験のワークショップなど様々なイベントが行われました。中でも農産物の詰め放題は毎年大人気で、多くの方が参加され、馬鈴しょや南瓜などの農産物を袋いっぱい詰めていました。また、各JAが厳選した農畜産物が当たる大抽選会では、豪華景品を楽しみにステージ前にはたくさんの方が集まり大いに盛り上がるなど、盛会のうちに終了となりました。

## 10月17日(木) 田んぼアート 2019 の稲刈りが行われました

2019年田んぼアートの稲刈りが青年部員約10名で行われました。

曇り空の中ではありませんでしたが、はじめに、来年の種子として使用する黄色と紫色の稲をそれぞれ10kgずつ手作業で刈取り、脱穀機と唐箕を使い種籾を選別した後に残りの稲をコンバインで刈り取っていきました。



青年部の皆さんのご協力のおかげで予定通りに稲刈りを終えることができ、今年の田んぼアート事業は全て終了致しました。

来年も多くの方にお越しいただき、田んぼアートを通じて農業にもっと興味・関心を持っていただけるような素晴らしい作品を作り上げていきますので来年の田んぼアートもご期待ください。

ご参加いただいた皆様、大変お疲れ様でした。



## 10月17日(木) たいせつ農協東鷹栖年金友の会組合長杯ゲートボール大会開催

たいせつ農協東鷹栖年金友の会組合長杯ゲートボール大会が15名の参加者で3チームに分かれて開催されました。

当日は曇り空で気温も低く、試合開始後に雨で一時中断となりましたが、その後は雨も止みゲートボール場で大会を行う事が出来ました。

前日の雨の影響で、ゲーム序盤は皆さん思った所にボールが転がらず苦戦していましたが、その後は毎週練習会を行っている成果を発揮し、素晴らしいプレーが出る熱戦が続きました。今回は3チームの為、試合・審判と皆さん休む暇も無くとても大変でしたが、お互い和気あいあい懇親を深める事が出来た大会となりました。

本年度の大会は今回ですべて終了となりますが、来年も大会を計画して参りますので、多くの参加をお待ちしております。参加された皆さんお疲れ様でした。

優勝 砂田 嘉石さんチーム

砂田 嘉石さん、上田 智さん、栗山 長さん、高橋 正三さん、山田 冷子さん



**9月28日(土)~29日(日) 第17回北海道総合畜産共進会(乳用牛の部)開催 45区加藤智宏さん出品牛入賞!**

北海道ホルスタイン共進会場(安平町早来)にて開催された第17回北海道総合畜産共進会(乳用牛の部)に431頭の乳牛が出品され日頃の改良の成果を競いました。

全道各地より選りすぐりの乳牛が出品されるレベルの高いショーの中、JAたいせつからも東鷹栖地区45区加藤智宏さんが3頭の乳牛を出品し、その中で第8部(ジュニアサイア2歳クラス)に出品されたグリーンハイツ レジーニア カーニバル号がクラスの準最高位である1等2席並びに乳器改良のトップに与えられるベストアダー賞を獲得され、2020年に宮崎県にて開催される第15回全日本ホルスタイン共進会への出品に向け弾みのつく素晴らしい結果となりました。



**10月5日(土) 北海道枝肉共励会交雑牛の部開催 鷹栖21区 新田ファーム出品牛入賞!**



北海道畜産公社道東事業所十勝工場にて北海道枝肉共励会交雑牛の部が開催されました。

全道各地の肥育農家より61棹の枝肉が出品される中、鷹栖地区21区(株)新田ファーム(代表 新田広一氏)より2棹の枝肉が出品、その内の1棹の枝肉(格付等級: B4等級・枝肉重量: 495kg・BMS No.: 8・種雄牛: 勝早桜5)優秀賞2席を獲得されました。

褒章順位としては出品棹全体の3番目となるものの、BMS No. (脂肪交雑等級)は出品棹全体を通し最高値である『8』を記録するなど肥育技術の高さを証明、素晴らしい結果となりました。

組合員の皆様へ

**メカニクセンターからのお知らせ ①**

東鷹栖給油所では災害時給油体制緊急整備事業にて、鷹栖給油所に続き本年8月10日自家発電機を導入致しました。

地域住民の皆様のライフラインの一助として可能な限り燃料供給に努めてまいります。

今後ご愛顧のほどお願い致します。



## メカニックセンターからのお知らせ②

ホクレン東鷹栖給油所の計量機入替工事が、9月25日～27日で行われ、無事終了致しました。組合員皆様には、繁忙期と重なり何かとご不便、ご迷惑お掛け致しました。

又、この機会に10月1日よりVIP会員の特典について内容を変更し1ヶ月70ℓ給油の限度を緩和致しました。

70ℓの範囲内で残りわずかからの給油でも止まらず給油出来る様になりました。

今後も、組合員皆様のお役に立てる様、努めてまいりますので、より一層のご利用をお願いいたします。



工賃  
無料

### お知らせ③

オイル交換しませんか？

## オイル交換キャンペーン

期間 10月15日(火)～11月30日迄(土)

エンジンオイルは一定期間・走行距離ごとに交換が必要です

※作業時間 20分程度  
交換目安

3,000km  
又は  
半年毎の交換を  
推奨しております！

今！オイル  
交換すると

**指定オイルが！  
なんと半額！！**

ディーゼルオイルについては乗用車のみ対応とさせていただきます。(トラック等の大型車は除外)

※オイルエレメントの交換はスタッフとご相談願います。  
オイル劣化による潤滑不良でエンジンの破損を招き最悪の場合、火災が発生することがあります。

### お知らせ④

来春のために…

**農機具・用品の整備・確認を！**

ロータリー爪の取り纏めを行っております。

大好評…

**北の大地の爪 シリーズ 予約受付中！！**

### お知らせ⑤

## コンバインの刈刃格納研磨

稲刈りが終わったら、来年に備えて刃を研ぎませんか？  
冬のうちに丁寧なごとして十分に錆止めを施して保管致します。

特典

1. 工賃15%引き
2. 来年8月迄の預かり
3. お支払は来年10月です

「格納研磨」と言って係にお渡しください。  
受付期限は12月末日迄です。

**車検は登録月日の1ヶ月前から入庫・検査できます。**

詳しくは店頭スタッフ  
までお気軽に♪

東鷹栖  
MC

TEL : 0166-57-6084  
FAX : 0166-57-2073

鷹栖  
SS

TEL : 0166-87-2409  
FAX : 0166-87-2445

## J A北海道中央会

北海道農業協同組合中央会は平成27年の農協法改正により、令和元年9月30日をもって法律上の位置付けを、農業協同組合連合会に移行しました。改正法では、名称は変更しないことが認められ、事業としては会員の相談、監査、意見の代表、総合調整が規定されており、法律上の位置付けは変わるものの、中央会が果たすべき基本的な機能は変わらないと認識しております。

組織変更に伴い、9月30日に本会役職員に対して飛田会長より訓示を致しました。訓示の内容については、「J A北海道中央会」のYouTubeチャンネルよりご覧いただけます。

今後も引き続き、J Aグループの結集軸として、持続可能な北海道農業の確立、農業者の営農と経営の安定、それを支えるJ Aをサポートする役割をしっかりと果たして参ります。



## J A北海道信連

10月5、6日、アクセスサッポロで開催された、こどものまち「ミニさっぽろ2019」に昨年に続きブース出展しました。「ミニさっぽろ」は、子ども達を対象にした職業体験のイベントであり、J Aバンクのブースでは各ブースからの依頼を受けて、給料を用意する仕事を体験してもらいました。

子ども達に仕事の大変さや楽しさ、そして金融の大切さを伝える機会を提供することができました。



## J A共済連北海道

J A共済連北海道は、平成20年より地域貢献活動の一環として、交通安全啓発運動を北海道警察本部と連携し「旗の波運動」として取り組んでいます。街頭で小旗等を振り、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通事故の撲滅、および交通安全意識の向上を目的に実施しております。

今年度も札幌地区では9月27日に約50名で共済ビル前の街頭で実施しドライバー・歩行者へ交通安全を呼びかけました。



## ホクレン

GAP（農業生産工程管理）の推進に向け、ホクレンは、農場評価の演習を盛り込んだ実践研修会を8月26～27日に札幌市内の学校法人・八紘学園北海道農業専門学校を会場に開催しました。参加者は道央圏のJ A担当者・連合会職員など約10名で、日本生産者GAP協会の田上隆多事務局長を講師とし、農場評価制度の基本学習や会場となった同校農場にて実際の調査を演習しました。参加者の各組織での今後のGAP推進に期待しています。



## J A北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。10月発行分にはプレゼント付きアンケートもございますので是非応募にもチャレンジしてみてください。



J Aグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



# 人間ドック受診のススメ

みなさんは自分の健康状態をどの程度把握していますか？平均寿命も年々上がり、人生100年時代ともいわれる今日ですが、一方で生活習慣の欧米化、あるいは機械化による運動不足などにより、高血圧・糖尿病・心臓病・がん・脳卒中などの生活習慣病が増加し、長い人生を十分に満喫できない人も増えています。たいせつ地域の農業者も平均年齢が年々上がっており、農作業中に今まで隠れていた病が発症するというようなリスクも年々高まっているといってもいいでしょう。そうならないためにも、人間ドックで自分の健康状態を確認し日頃の生活を振り返り、生活習慣病の予防に努めましょう。

旭川厚生病院では組合員の方なら特別価格で受診することができますので、より健やかで豊かな生活を送るためにも年1回の人間ドック受診をおすすめします。

## ◎オプション検査を活用しましょう

毎年人間ドックを受診している方でも基本の検査項目では発見できない病気が進行している可能性も有ります。オプション検査を活用し全身をよりくまなく検査することでそれらの病気の早期発見に繋がります。検査項目には血液検査のみで診断できるものもあります(表1参照)し、前立腺がん検診は巡回ドックでも受けることができますので、利用されていない方はぜひ一度オプション検査で身体の隅々まで調べてみましょう。

検査内容	検査項目
脳ドック(事前予約)	MRI、MRA
肺ドック(事前予約)	ヘリカルCT、喀痰細胞診
乳がん検診	マンモグラフィー
子宮がん検診	頸部細胞診、内診
前立腺がん検診	血液検査(PSA)
骨粗しょう症検診	骨量測定
胃がんリスク検診	血液検査
ペプシノゲン検査	血液検査
動脈硬化検診	血圧脈波測定、頸動脈エコー
BNP検査	血液検査

表1 オプション検査の内容・項目

東鷹栖地区のみなさまへ

## 巡回ドック

12月3日・4日・5日  
本所事務所2F 大会議室

申込期限が迫っています

申込がまだの方は

**11月8日(金)**までに

本所共済課へお申し込みください。

### 人間ドックに係るお問い合わせ先

たいせつ農協 総務課 ☎57-2311

旭川厚生病院検診センター ☎33-7171 内線2146/2198

## 理事会からのご報告

令和元年九月三十日第六回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 一、令和元年度中間自治監査結果について  
八月十九日から二十七日まで実施された自治監査について、総評、事務整備状況の確認、事務改善事項・事務整備事項について報告され承認決定されました。
- 二、固定資産取得について  
固定資産(計画外)一件、リース資産(計画内)一件の取得について原案通り承認決定されました。
- 三、役員報酬審議会委員の選任について  
原案通り承認決定されました。
- 四、借入金 の最高限度額設定について  
原案通り承認決定されました。
- 五、定款第五十七条三項による組合と理事の契約承認について  
理事に対する貸付一件について承認決定されました。
- 六、組合員持分譲渡承認について  
相続による譲渡二件について承認決定されました。
- 七、道営土地改良事業 北成地区換地委員の変更推薦について  
高橋理事を推薦することで承認決定されました。

## 監事会からのご報告

令和元年九月三十日第六回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 一、令和元年度中間自治監査結果について  
八月十九日から二十七日まで実施された監査の講評について、原案通り理事会に報告する事が承認決定されました。

## 「たいせつ」のあゆみ

10月	
10月4日	東鷹栖年金友の会パークゴルフ大会
10月11日	鷹栖年金友の会パークゴルフ大会
10月12日	令和2年度採用内定者就職説明会
10月15日	北海道常例検査 18日
10月17日	東鷹栖年金友の会、ゲートボール大会
10月18日	第7回理事会・第7回監事会
10月24日	青果協議会たいせつ支部日帰り研修
10月25日	東鷹栖年金友の会日帰り研修
10月29日	人事考課研修会
10月30日	青果協議会たいせつ支部女性1泊研修 31日

### 組合員の皆様へ

「令和元年度台風等にかかるJAグループ支援募金」のご協力お願いについて

本年8月27日に発生した九州北部豪雨、9月8日に関東地方に上陸した台風15号および10月12日東海地方に上陸し広範囲に被害を及ぼした台風19号により農作物や農業関連施設等に甚大な被害が発生しました。

こうした状況に対し、JAグループでは被災地JA・組合員の復旧・復興支援のため、組合員・役員等による支援募金活動を展開します。

つきましては、農事組長・町内会長さんを通じご依頼致しますので、皆様のあたたかいご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

一人当たり500円以上を目標(12/27まで)

## 退職のご挨拶

営農部 農産販売課 農産販売係



長 田 勝 幸

晩秋の候、組合員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私こと、この度10月31日をもちまして「たいせつ農業協同組合」を退職致しました。

顧みますと昭和63年4月に奉職以来、31年の長きに亘り務めさせていただけたのも、偏に組合員の皆様方の温かいご指導とご支援の賜物と心より厚くお礼申し上げます。

これからは、皆様からいただきました多くのご教訓を大切に活かしながら新たな人生を歩んで参りたいと存じますので、今後とも変わらぬご厚情を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

未等ではございますが、組合員皆様のご多幸ご健勝と、たいせつ農業協同組合の益々の発展をご祈念申し上げ退職のご挨拶とさせていただきます。

長い間お世話になり本当にありがとうございます。

## 第6回 法律相談日のご案内

JAでは、農地の売買・相続等に関する問題や、その他日常における法律問題について相談いただけるよう顧問弁護士による法律相談日を定期的に設けておりますので、事前にご予約の上お気軽にご利用ください。

◦相談日時 令和元年11月29日(金)  
午後3時から午後5時

◦弁護士 田代 耕平氏  
(札幌総合法律事務所)

◦相談場所 本所事務所 2F 研修室

※お問い合わせ先

本所 営農部営農支援課  
支所 鷹栖支所営農施設課

☎57-2357  
☎87-4111